

第7回 まちセミ・IZUMI 実行委員会 2020 議事録

日時 2020年12月12日(土) 16時00分~17時30分

場所 アイ・あいロビー & ZOOM

出席者 アイロビ 村田、佐藤、宝閣、駒沢、佐近

ZOOM 芦田(三)、芦田(と)、河崎、的場、小林(センセイ)、森井、新田

議題

① 近況報告

② 今年の総括(主に、気になったこと)

- ・良かったことは、準備が進んで、ある程度のところまでできた。ZOOMの講座ができた。キャラクターもできてよかった。

気になったこととして、スケジュールがしんどかった。進捗状況を追っかけた方がよかった。

今回の目的の共有(まちセミとはなど)。市民が気軽に受講できる講座がもっとあった方がよかった。

- ・まちセミは定着してきたように思うが、まだまだ。まちセミの良さ、和泉らしさがほしい。シティプラザから美術館までの写真の展示や子どもから大学生も参加できる内容が欲しい。

- ・特別授業だけでも大変だった。準備不足だった。ZOOMのテストが必要だった。班長会議をして、つめないといけなかった。理解が違ってきた。まちセミを応援してくださっているのを感じた。やって良かった。

- ・先生班や事務局にかなりの負担がかかった。情報を流す難しさを感じた。次回は、しっかり共通認識を持たないといけない。エコールイズミと生協から合計6,000円の寄付をいただいた。

シティプラザを確保しておいてよかった。ボランティアで若い人が参加してくれて嬉しかった。

- ・先生班が会議に1回参加できなかつたときに、先生班に役割が当たっていて、ZOOMのことが、先生方にうまく伝わらなかつた。今回の中止について先生方は納得してくださった。

- ・先生をさせてもらったが、いろいろな方から連絡が来た。

- ・今回の開催にあたってPRするには、後1か月必要だった。先生班が1回、実行委員会を欠席されたことで、情報がうまく伝わらず、1ヵ月遅くなってしまった。きちんと連絡する必要がある。実行委員の方で、積極的に勧誘できないとおっしゃった方がいて、そのようなイベントにしてしまったことが気になった。

- ・実行委員会にあまり参加できなかつたので、当日どのように運営するのか分からない状況だった。それで、積極的に勧誘できなかつた。

- ・開催告知のチラシが欲しかった。情報を発信しようにもできなかつた。

- ・事務局に負担がかかったので、分散できるようにしないといけない。

- ・もっとスタートをはやく。

- ・ ZOOMに慣れていない人が多い。生徒が前にいて、ZOOMですするというのは、難しい。ちゃんとパソコンに向かって話してもらわないとZOOMの講座は出来ない。
- ・ カメラワークができればリモートでできることは広がっている。体操などもやっている人が増えた。

③ 来年度について（日程・場所・規模など）

- ・ 対面でやるのであれば、学校がいい。でも、リモートはこれからも続くので、2面性が必要だと思う。
- ・ コロナがいつまで続くか分からない。
- ・ 来年も、シティプラザは考えておいた方がよい。
- ・ 和泉市民の方々に来ていただくには、駐車場が必要。
- ・ 石尾中学校も北池田中学校も借りられる。ただし、石尾中学校は建物が古く、教室ごとに鍵が違ふ。北池田中学校だったら、中学生を巻き込むことも可能だし、小学校を駐車場として借りられる。
- ・ 北池田中学校は、昼食の問題がある。
- ・ 桃大は大学共催でないと借りるのは難しい。
- ・ 授業数を増やすためには、ボランティアを確保しないとイケないが、学校とタイアップできないと難しい。

➡結論 11月3日（祝・水）会場：北池田中学校（対面授業）、シティプラザ（ZOOM）
規模：対面 30 講座、リモート 15 講座 合計 45 講座 50 講座で申請

④ その他

- ・ もっと広めないといけない。市民大学の卒業式などを利用。桃大の学生と話をする機会があるので、桃大にも協力を呼びかける。
- ・ ZOOM飲み会をやってほしい。

★次回実行委員会 1月23日（土）午前10時～ アイ・あいロビーとZOOM